

かごしまTechミーティング

鹿児島大学の研究者と対話できる「場」を定期的で開催し、産学連携のきっかけをつくることで企業の抱える技術的な課題解決をサポートし、**新しいビジネスの創出**を目指します。

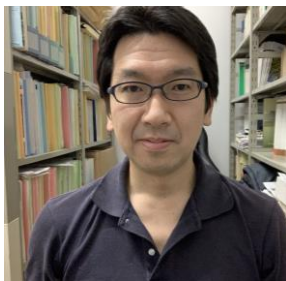
- 日時 ▶ **第2回 2020年10月15日(木) 14:00~15:30**
場所 ▶ mark MEIZAN 2F ユーティリティスタジオ (鹿児島市名山町 9-15)
募集対象 ▶ 産学連携に興味のある事業者 (定員:10名 参加費:無料)

発表テーマ

消えつつある海藻の森を守るために

～ウニの餌料や海藻の肥料になりそうな産業廃棄物はありませんか？～

- 研究シーズの概要 ▶ 海に形成される海藻の森は、私たちが食べる様々な魚介類の棲み場や食物になるため重要ですが、近年縮小しています。この原因の一つは窒素不足のため、海に窒素を供給したいのですが、これが難しい！
ここでは、食品残渣などの産業廃棄物からウニ用餌料や海藻用肥料を作り、窒素を排出するウニ養殖と施肥によって海藻の森を守る方法を検討します。皆様のお知恵と「廃棄物」を拝借！



遠藤 光 氏

国立大学法人鹿児島大学法人
水産学部 水産学科 水圏科学分野 助教

Profile

宮城県仙台市出身。東北大学大学院農学研究科で学位取得後、京都府農林水産技術センター海洋センター研究員、東北大学大学院農学研究科助教を経て現職。趣味はラーメン、カラオケ、ピアノ。

- キーワード ▶ 循環型社会、窒素循環、ヒジキ、ワカメ
企業の取組に対して協力できる主な事項 ▶ 海藻やウニの生物情報やサンプルの提供。
ウニ養殖事業を行う際には技術提供・共同研究。
シーズ活用が期待される企業 ▶ 野菜残渣、焼酎粕など、食品製造過程で出る廃棄物の有効活用を検討している企業、農協、漁協の皆様。なお、ウニには1月 or 4月～6月に高蛋白餌料、植物性餌料の順で与えるのがベストです！

かごしま Tech ミーティングとは...

大学との産学連携や、大学が持つ先端技術を知る「きっかけづくり」のためのオープンな場です。「食・ヘルスケア・環境」分野への応用が期待できるシーズ（技術等）について、毎回、異なるテーマを設定し、産学連携に積極的な大学研究者をゲストスピーカーとして招きます。

一方的なセミナー形式ではなく、大学研究者と企業が、「近い距離で双方向」に、ニーズ（困りごと）やシーズを気軽にディスカッションできるよう、参加者は、10名程度の少人数に設定しています。

<http://www.city.kagoshima.lg.jp/san-sousyutu/techmeeting.html>

主催：鹿児島市 共催：国立大学法人鹿児島大学 産学・地域共創センター

お申し込み用紙

申込締切 2020年10月8日(木)

以下に、必要事項をご記入の上、FAX または E-mail でお申込みください。

F A X ▶ **099-226-5975**
「かごしま Tech ミーティング」運営事務局 ((株)九州経済研究所 内)

E - m a i l ▶ **kikaku@ker.co.jp**

申込締切 ▶ 10月8日(木) 締切(先着)

ご参加お申し込み事項

貴社名	▶ 貴社名 :	／主たる業種 :
本社所在地	▶ <input type="checkbox"/> 鹿児島市内 <input type="checkbox"/> 鹿児島市外(市)	
ご参加者①	▶ 所属部署 :	
	▶ 役職 :	▶ 氏名 :
ご参加者②	▶ 所属部署 :	
	▶ 役職 :	▶ 氏名 :
ご連絡先	▶ 電話番号	
	▶ E-mail	▶ @
その他	▶ 産学連携(共同研究・受託研究など)の実績 : <input type="checkbox"/> あり / <input type="checkbox"/> なし 先生への質問・相談したい内容など、ありましたらご記入ください。	

- 本企画は、「鹿児島市新産業創出支援業務」として、鹿児島市から委託を受けた(株)九州経済研究所が運営しています。
- ご記入いただいた個人情報、本企画に関する業務のみ使用します。
- 会場には駐車場がありませんので、お車でお越しの際は、お近くのコインパーキングをご利用ください。

お問い合わせ先

「かごしま Tech ミーティング」運営事務局 ((株)九州経済研究所 内)
TEL 099-248-8691 (直通) FAX 099-226-5975 E-mail kikaku@ker.co.jp